

ご意見募集の実施結果

1 実施概要

(1) 意見募集期間

令和6年1月5日（金）から1月26日（金）

(2) 周知方法

- ① 社協だより232号（1月5日発行）
- ② 社協ホームページ

(3) 計画（素案）の閲覧場所

社協事務局各課（所）窓口及び社協ホームページ

2 意見の提出方法

オンラインフォーム、郵送、ファックス、窓口、まちづくり話し合いひろばを活用した説明会質疑応答及びアンケート

3 寄せられた意見

(1) 提出人数

29人（オンラインフォーム7人、ファックス2人

説明会質疑応答ご意見6人 説明会アンケート14人）

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
人数	0	1	4	5	6	4	9	29

(2) 意見件数

37件

(3) 意見要旨と社協の考え方

別紙「江東区地域福祉活動計画（素案）ご意見募集一覧」

江東区地域福祉活動計画（素案）ご意見募集一覧

番号	年代	要旨	回答
1	70代	住民の繋がりを重視した地域区割りについて、不合理さを感じています。サテライト管轄の区割りのあり方が再考されますことを要望します。	地域の区割りは、職員体制等も踏まえ、生活圈からの距離を基礎として区分けしております。その上で、各サテライトにおいても、皆さまの個々の事情に配慮した対応を検討してまいります。
2	50代	福祉事業所と協働で「社協オープンカフェ」で地域住民等の声を聴いたり、情報提供、産学官民学交流を図っていただきたい。	より一層地域団体や企業等様々な主体との協働を図り、情報共有や地域交流の機会創出に向けて活動してまいります。
3	60代	住まいという観点から（シェアハウス等）や見守りの仕組みを考えたいと思っています。	ご相談をいただければ、見守りの仕組みづくりについて、一緒に考えてまいります。
4	50代	30代～40代の世代の地域に関心を寄せてもらう施策などの検討をして頂きたい。	30代～40代の方が関心のあるテーマを設定したイベントを開催する等、広く訴求してまいります。
5	50代	交流の場で、福祉事業所が、製造した食品や物品を販売できるようにしていただきたい。	話し合いや交流の場での出張販売については、福祉事業所でも様々な調整が必要になるかと存じます。ご提案については、今後の事業連携を進める中で検討してまいります。
6	-	保育園の施設を活用して地域の皆さんとの交流に参加させていただきたい。	ご相談いただければ、施設としての希望や受入条件も踏まえ、実現に向け連携してまいります。
7	60代	気軽に社会貢献活動に参加するきっかけとして、コミュニティー内で、清掃活動を進めて広報していただきたい。	清掃活動をはじめ、社会貢献活動に参加するきっかけづくりのための広報を、引き続き行ってまいります。
8	40代	精神科デイケアに通い卒業しました。経験を活かし卒業して寂しい人や助けが必要そうな彼らを救うNPO法人のセーフティーネットを作ろうと考えていますが、いかがでしょうか。	NPO法人の設立などの相談を承っております。
9	50代	東京オリパラレガシーとして「ボランティア」をアピールする。また、イベント等でのボランティア活動や関係する講座の年間、月間予定の掲載と申し込みフォームを統一していただきたい。	区民の皆さんがボランティア活動に参加しやすいよう、広報してまいります。
10	50代	有償ボランティアに「区内共通商品券」の配布やポイント制の導入を実施していただきたい。	現在、有償ボランティア活動について、他機関との連携はございません。また、イベント等参加者が、継続して参加できるよう、工夫してまいります。
11	40代	災害ボランティア養成講座修了者でも、災害発生時にリーダーにはならないと思われまます。	災害ボランティアに登録していただいた方には、リーダーではなく運営補助をお願いします。災害時には混乱を招かないよう、配慮してまいります。
12	50代	江東区におけるボランティア、町会自治会役員の人数と共に、男女その他、世代別の内訳人数も周知していただきたい。	当センターに登録のある個人ボランティアについては、男女・世代別などを把握していますが、今のところ区全体の実態を共有することは困難であると考えます。

江東区地域福祉活動計画（素案）ご意見募集一覧

番号	年代	要旨	回答
13	-	50頁にある「ボランティア・地域貢献活動の相談・登録・受給調整」の中で「地域貢献活動団体数」の76団体は少ないのではないかと	ボランティア・地域貢献活動センターに登録している団体数が76団体であり、登録はしていないが活動している様々な団体があることは承知している。今後登録への周知等努めてまいります。
14	-	災害時の社協の取り組み対応を計画に盛り込んで欲しい。	災害時を踏まえた関連事業は「災害ボランティア養成講座（ボランティアの育成）」と「災害ボランティア養成講座（災害ボランティアセンターの設置運営訓練）」に掲載している。災害ボランティアセンターが立ち上がった際には、全国から災害ボランティアの受け入れも含め支援していかなければならないが、区民に対する災害ボランティアそのものの養成講座を複数回開催しているほか、災害ボランティアセンターの設置に関する日頃からの運営訓練を行っております。
15	-	住民の積極的な活動をどう組織化していくか、その後の後押しをどれだけ社協ができるかで町は変化していくと考える。	Ⅱ-④の活動目標にあるとおり、ボランティアや地域貢献活動を推進するための取り組みに注力してまいります。
16	70代	ボランティアグループ「SOS江東」の継続を希望する。	ボランティアグループ「SOS江東」は、災害要支援者の支援として地域貢献活動団体登録をしていましたが、現在休会中です。災害ボランティア養成講座を修了した方を中心に、ボランティア団体の組織化を促進してまいります。
17	30代	オンラインでの申し込みやコミュニケーションの強化、ボランティア申し込みや登録会を夜間や土日にも広げていただきたい。	ファミリー・サポート事業においては、コロナ禍を機に令和4年度より利用会員登録説明会をオンライン（Zoom）で開催しています。また、これまで紙媒体で行ってきた会員登録意思確認及び新規会員登録についてもオンライン上で登録ができる体制へ変更しました。他事業につきましても、オンラインの活用について進めてまいります。
18	60代	数年前、ひとり親の方々に歳末見舞品の支給が行われていたことを知りました。申請に伺えなかった人々にも渡す方法を考えてほしいです。	毎年末に歳末たすけあい見舞品の配布を行っており、区報や社協だより、SNS等で広く周知してまいりました。令和5年度より対象者を「生活困窮者自立支援法に基づく相談支援を受けている世帯」へ変更し相談者へ直接案内をしております。引き続き生活に困っている方へお届けできるよう関係機関と連携し、把握に努めてまいります。
19	40代	地域福祉活動計画の年次目標件数で「江東区高齢者地域包括ケア計画に準じる」とあるが、障害者も含まれる事業に関してどの程度加味されているのか。	高齢者地域包括ケア計画で指標としている権利擁護の件数には、障害者を対象とした件数も全て合算して含まれております。
20	60代	「身元保証等高齢者サポート事業」や「死後までのトータルサポート」を社協自身が主体となって実施していくことを検討していただきたい。	ご提案のサポート事業は、民間の高齢者サポート事業として実施されておりますが、こうした事業は公正を欠く契約手順や複雑な費用体系などの課題が指摘される中で、安心してサービスを利用できるように、地域包括支援センターや消費生活センターが相談窓口となっておりますが、社協でも法律専門職と連携しながら相談に応じております。また、ご意見の通り、公共性の高い社協が直接提供するサービスであれば、より利用者の安心感につながると考えます。一方で利用者の費用負担を抑えるためには、公費補助が必要となるなど、様々な課題がありますので、機会を捉えて行政や地域の関係者との協議を続けてまいります。

江東区地域福祉活動計画（素案）ご意見募集一覧

番号	年代	要旨	回答
21	70代	火葬場の設置をお願いしたい。	火葬場の経営主体としては、国からの通知において、地方公共団体、宗教法人、公益法人等とされております。また、区では火葬場の経営の許可に関する事務を行っております。社協では火葬場の設置は行えないため、参考意見として区へ申し伝えます。
22	60代	遺贈寄付を基金化を検討していただきたい。	今年度より、HP等において遺贈寄付のPR強化を図ったところですが、引き続き先進団体の取組み等を参考に検討してまいります。
23	60代	人間関係が希薄なため「①挨拶」「②地域行事等でのコミュニケーション」「③居場所づくり」が必要と考えています。	ご意見にある挨拶の問題については活動目標Ⅰ-①「つながるきっかけを作ろう」において「個人・地域でできること」として「積極的に挨拶し顔なじみを作ります」を掲げています。また、コミュニケーションについては、活動目標Ⅰ-③「つながる仕組みを活用しよう」において「個人・地域でできること」として「地域の既存の集まりに参加します」を掲げています。集まる場所については、活動目標Ⅰ-②「つながる場を作ろう」において「個人・地域でできること」として「身近な場所で集まる機会を作ります」を掲げています。こうした目標の達成に向け地域の方と連携しながら取り組んでまいります。
24	60代	Co2削減の自販機オーナー制度を創設していただきたい。	参考意見として承ります。
25	50代	計画体系図「個人・団体でできること」について立体的に表記していただきたい。	体系図表記については、団体企業や産学官民との意見調整、連携などを踏まえて作成しております。詳細については、各目標毎記載しているほか、色分けなど増やしイメージしやすいように工夫してまいります。
26	50代	農林水産省助成金「福祉農園」を活用し、屋外での交流の場の設置していただきたい。	農山漁村振興交付金「農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農福連携型）」について、取組む予定はありませんが、屋外での交流として、各サロン活動を支援してまいります。
27	50代	社協の広報・普及宣伝の事業の年次目標で、SNSのフォロワー数250件は少ないと思われる。	若年層へのPR強化を含め、SNSフォロワー数の増加等の目標達成に向けて、広報の強化に努めてまいります。
28	60代	目玉企画のようなものが欲しかった。	掲載している各事業については、計画策定の中でいただいた意見等を最大限踏まえたものとしており、着実に推進してまいります。
29	40代	P38・39にある「認知症サポーター講習」は「地域福祉サポーター講習」の間違いではないでしょうか。	認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かい目で見守る応援者（サポーター）を広げることを目的とした講習で、「個人地域でできること」「団体でできること」双方に記載しております。

江東区地域福祉活動計画（素案）ご意見募集一覧

番号	年代	要旨	回答
30	40代	講習会・講座が入っておりますが、地域活動に参加、参画するような仕掛けをしてください。	各課で行っているの講習会・講座につきまして、より一層地域活動に参加、参画できるように工夫してまいります。
31	80代	計画策定で行われた「まちづくり話し合いひろば」には、若い方の参加はないのではないか。	「まちづくり話し合いひろば」のほか、個人・団体ヒアリング、こども向けアンケートなど幅広い方からの意見を反映しております。
32	50代	「まちづくり話し合いひろば」について夜間に開催して欲しい。	「まちづくり話し合いひろば」は、日中の活動者の「集まる、つながる、行動（やってみる）」ということで自主的な仲間作りの狙いもあり進めているところです。夜間や休日等の開催については、その事業趣旨も踏まえながら検討してまいります。
33	-	12頁以降にある江東区に関する基礎情報で、地域ごとの詳細も分かるとうい。	データが膨大となるほか、江東区のホームページに掲載されているため、当該URLの2次元コードを記載し簡単に確認できるようにいたします。
34	-	計画期間の6か年は長いと思われる。進捗管理の中で見直しが行われることも等も示されていない。	大きな社会状況の変化、社協の体制、事業の内容変更があった場合には、毎年度の推進評価の中で議論いたします。このことについて表記するようにいたします。
35	-	「社協会員の増強」での年次目標「社協会員数」について、現況実績から3,188人と毎年次同じなのはなぜか。	江東区は転入が多く人口が増が続いているものの、社協会員数については減少傾向にあります。そのため、現状維持を図っていきたいという年次目標としております。
36	-	数値目標で他の区との比較のようなものがあると良い。	各社協での事業内容や対象などは、それぞれ異なっているため、それぞれの事業の内容を一律に比較することは難しいと考えております。
37	-	区民へ影響の大きい社会保障費など、金額ベースで目標として示すことができると良い。	本計画の目標としては難しいと考えております。